

学校法人総持学園

中長期計画

『Vision 2024』

改訂版（2023～）



100年続く、  
自分を作る

鶴見大学・鶴見大学短期大学部キャッチフレーズ（2022年8月決定）より

# 建学の精神 「大覚円成 報恩行持」

学校法人総持学園寄附行為第3条（目的）の定めのとおり、教育基本法及び学校教育法に従い、仏教の教えに基づく**大覚円成 報恩行持（だいがくえんじょう ほうおんぎょうじ）**を建学の精神として、学校教育を行い、禅的行持によって道義に篤い賢良な人材を養成することを目的としています。

## 学校法人総持学園のあゆみ

大正13	1924	光華女学校 （現 鶴見大学附属中学・高等学校）設立
大正14	1925	曹洞宗大本山總持寺開祖常濟大師600回 大遠忌記念事業として鶴見高等女学校設立 （現 鶴見大学附属中学・高等学校）
昭和28	1953	鶴見女子短期大学（現 鶴見大学短期大学部）を設置
昭和38	1963	鶴見女子大学（現 鶴見大学）を設置
昭和48	1973	鶴見女子大学を鶴見大学に名称変更し、男女共学化
平成11	1999	鶴見大学女子短期大学部を鶴見大学短期大学部に 名称変更し、男女共学化
平成20	2008	鶴見高等女学校を鶴見大学附属中学校・高等学校に 名称変更し、男女共学化

当学園は令和6（2024）年に創立100周年を迎えます。次の100年に向けて、学園の一層の発展のため、学校法人総持学園中長期計画『Vision 2024』改訂版（2023～）を策定しました。

# ミッションとビジョン

- ミッション（使命）

建学の精神に基づき、社会に貢献する「人財」を育てること。

- ビジョン（将来構想）

1. 大本山總持寺の歴史と伝統を受け継ぎ、学びと文化交流・医療の拠点を提供
2. 時代にマッチした持続的な学園の運営と発展

学校法人総持学園では、これらのミッション及びビジョンに基づいて学校法人総持学園中長期計画『Vision 2024』改訂版（2023～）を策定し、様々な施策を実行してまいります。

## 鶴見大学・鶴見大学短期大学部 キャッチフレーズ 「100年続く、自分を作る」

（作品の説明）

現代は人生100年時代、とも呼ばれていますが、鶴見大学はその100年を豊かに生きるために必要な知識で溢れています。文学部では年老いても心を豊かにしてくれる文学を研究し、歯学部では歯の健康を保つ知識を学び、短期大学部では幼い子どもや高齢者が健康に生活する手伝いに必要な知識を学ぶことができます。これらは、全て人生100年時代を心身共に豊かに生きるために必要不可欠な力である、と感じたため、このキャッチフレーズを考案いたしました。

（文学部日本文学科2年 古畑穂香）

# 鶴見大学・鶴見大学短期大学部

## 1. 教育

1. 高大接続の円滑化
2. 教育課程の改善（学位の質保証）
3. 学生支援の充実

## 2. 研究

1. 学部の枠を越えた学際的研究環境の構築

## 3. 医療

1. 社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

## 4. 社会貢献

1. 地域と總持寺、本学の連携
2. 地域ニーズと学内資源のマッチング強化

## 5. 大学運営

1. 組織運営の高度化
2. 経営基盤の強化
3. 同窓会との連携強化
4. 機能的で心地よい学修空間づくり

# 鶴見大学附属中学校・高等学校

## 目指すべき将来像

建学の精神を基盤にグローバル化した未来を生きる力を育て、社会から高く評価され、保護者から深く信頼される卓越した中学校・高等学校

## 教育ビジョン

自立の精神と心豊かな知性を育み  
国際社会に貢献できる人間を育てる

## 教育目標宣言

「学びの心で世界を変える」

### 1. Crane翼プロジェクト

禅の教えを礎に、教科エリア型校舎を最大限に活かし、21世紀の未来を創造する人材を輩出し、広く社会の信望を集める私立学校として発展する。

### 2. 学びの力を育むアクションプラン

1. 共に生きる力、2. 探究する力、3. 挑戦する力、4. 基礎学力、5. 人間力を育むアクションプランを策定し、着実に施策を実行する。

### 3. チーム鶴見大学附属

教育職員・事務職員に加えて、さまざまな分野のエキスパートとの協働によって子どもたちを見守り支えるチーム力を高める。

# 鶴見大学短期大学部 附属三松幼稚園

## 1. 教育理念

安心の環境の中で、一人ひとりの子どもの小さな発見や挑戦を大事に受け止め育む保育

## 2. 教育体制

1. 子ども主体の教育・保育の充実  
(3・4・5歳児クラス)
2. わくわくキッズ（横浜市型預かり保育事業）
3. にこにこ教室（未就園児親子教室）
4. 特別な支援を要する子どもへのサポート
5. 園教諭以外の様々な人による活動参加
  1. 読み聞かせ隊
  2. 三松サポーター（保護者・OB）
  3. 短大教員
  4. 保育科・専攻科学生
6. 課外教室